

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 6 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方)

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料5-5
提出年月日	令和5年4月11日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230327-08	1	添6.4.4-30ページ) 「～MAAP コードによる有効性評価で留意すべき事項を以下の4項目に大別した。」について、参照した東京電力の資料で抽出された項目から、PWRとしてなぜこの4事象を抽出したのかを示す資料を追加し説明すること。	R5.3.27	後日回答予定				2023年5月
230327-12	2	添6.5.9-1ページ以降) コンクリート組成の違いによる評価結果への影響について、コンクリートの物性値(融点、溶解潜熱等)、侵食時に発生するガスの種類、発生量を踏まえ、考察を追記して説明すること。	R5.3.27	本日回答		コンクリート組成の違いによる評価結果への影響について、コンクリートの物性値(融点、溶解潜熱等)及びコンクリート侵食量の観点から考察を追記した。	資料5-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6 r.6.0)』 P. 添6.5.9-1 資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6-9 r.6.0)』 P. 添6.5.9-1	
230327-15	3	6.1.1-14ページ) CVバイパスのSG伝熱管の破断箇所について確認の上、説明すること。	R5.3.27	本日回答		格納容器バイパス(SGTR)の蒸気発生器伝熱管破損位置に関して※で以下の注記を追記した。 「※破断箇所は漏えい量の観点から低温側配管が接続する出口水室の管板直上を仮定」	資料5-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6 r.6.0)』 P. 添6.1.1-14 資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6-9 r.6.0)』 P. 添6.1.1-14	
230327-18	4	比較表29ページ) ※の文章に関して、大飯との相違理由を追記するとともに、先行PWRの評価内容と同じである旨を追加し説明すること。	R5.3.27	本日回答		※の文章に関して、以下の相違理由を追記した。 「記載方針の相違(女川実績の反映) ・記載内容は従来の泊の説明内容と同等であり、大飯とも運転停止中の期間の考え方は同様」	資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6-9 r.6.0)』 P. 29	
230327-19	5	比較表51ページ) 6.5.2 共通解析条件についても上記と同様に、大飯との相違理由を追記するとともに、先行PWRの評価内容と同じである旨を追加し説明すること。	R5.3.27	本日回答		6.5.2 共通解析条件の相違理由に関して、以下の相違理由を追記した。 「・女川実績の反映で大飯とは記載が異なるが記載内容は大飯と同様」	資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6-9 r.6.0)』 P. 51	
230327-20	6	比較表61ページ) 大飯のピット水温が100℃まで上昇する時間の評価について、「温度条件が厳しくなるようにAエリアのみの水量を考慮している」と記載している意図について確認の上、泊の記載が適切か説明すること。	R5.3.27	本日回答		大飯の資料を確認し、泊でも大飯と同様の記載が可能と判断したため、記載を大飯同様の記載に見直した。	資料5-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6 r.6.0)』 P. 6-52 資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6-9 r.6.0)』 P. 61	

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。